

書店にはたくさんビジネスマナー本が並んでいますが、マナーとはいったい何を指すのでしょうか？

手紙や食事の作法、会議室での席順などには明確なルールがあるため、「こうするべきです」と断言して伝えることができます。これらのことは、どのマナー本でも知ることができずし、インターネットで検索しても答えを得ることができるかもしれません。

自分が新入社員だった頃を思い出すと、一番頭を抱えたのは、こうした「答えのあるマナー」ではなく、「その場に合った振る舞い」という、曖昧な部分だったように思うのです。「基本はこうするべき。ただし、そうはいつでも…」と思う中で、*〃*そうはいつでも〃の部分を感じられるようになるのが難しいのが日々の仕事です。これらについては、曖昧なことを語ってはいけないと、一般的なマナー本には書かれない部分なのです。

そこで本書は、先輩と新入社員（吉田くん、楠原さん）の会話形式でストーリーを進行することで、この曖昧な部分の解消ができるようにまとめています。マナーとして確立しているとは言えないけれど、たいいていの人はそのようにしているという、**まさに現場で本当に使う今どきのビジネスマナー**を、登場人物の先輩の助言として、紹介しています。隣の席に座っている先輩のアドバイスと参考にして下さい。

実際の現場でも、マナー講師の先生から習うマナーは大切ですが、実際に、毎日頻繁に使うのは隣の先輩から習う、*〃*具体的*〃*で*〃*今どき*〃*のマナーなのです。

もし、あなたの近くに、ちょっとした質問をぶつけられる先輩がいない場合、本書があなたの良いお手本になってくれるはずです。

マナーを知ることが、今後仕事をする上でメリットしかありません。何よりもあなた自身、格段に仕事がしやすくなりますし、業務中にどうしたものかと困り、思考が中断されることも少なくなります。そうしたことからか、できるビジネスパーソンは、ビジネスマナーが完璧なことが多いものです。

少し自分の話しをさせていただくと、私をはじめ勤めた会社では、先輩たちはい

つ見ても忙しそうでした。それなら少しでも自分で勉強しようと思いましたが、なかなか頭には入ってこなかったものです。やはり、現場を体験してからテキストを見てやっと身に付くのがビジネスマナー。そこで本書では、職場の雰囲気を感じてもらえる工夫を各所にしています。

新入社員だった頃から時が経ち、ライフスタイルを試行錯誤した結果、結婚をし、小さいながらも自分の会社を持つようになりました。ふと振り返り、私のビジネスマナーはどうだろう？と考えてみると、細かなマナーを全部網羅しているわけではないのですが、お客様やビジネスパートナーと共に気持ちよく働いています。

今でも時にはマナーに迷うことはありますが、土台さえあれば少し調べることで事足りるのです。数年間の経験から必要なマナーが備わったのかもしれませんが。

大きな企業に勤めているわけでもない今の状態では、マナーはすべての事柄の「生命線」と言っても過言ではありません。たとえ、いくらかの実力があつたとしても、心と心のマナーを無視していたら、すでに私の会社は存在していないでしょう。

すべてを暗記する必要はないのです。日々の仕事で使うビジネスマナーは、実は類

出事項が決まっています。それらを知った上で、心からの笑顔が添えられたなら、何も困ることありません。

本書では、男女2名の1週間を追うことで、この類出ビジネスマナーを見ていきます。誌上ロールプレイングのつもりで、職場の予習ができるわけです。本書に載っていることで、必要のないマナー、普段使わないマナーというのはほぼ皆無です。だからこそ、あなたがマナーや仕事のルールに不安を抱えていなければならないほどに、一読することでマナーレベルがランクアップできます。そして、**社会生活をイメージすることが出来る体感型マナー本なのです。**

入社前、もしくは、同じシチュエーションを経験する前に、本書に登場するだけの仕事シーンをイメージできているというのは、今後大きな強みになるはずですよ。

この本で誌上体験すれば、誰にも迷惑をかけずに、恥ずかしい思いもせずに、今どきのビジネスマナーが身につきますよ！